

仙台市博物館の大規模改修について

1 大規模改修

(1) 長寿命化改修

当館は昭和 61 年（1986）3 月の新館開館から 35 年となることから、仙台市公共施設マネジメントプランに則り、老朽化した設備を改修して長寿命化を図る。具体的には、令和 3～5 年度にかけて全館的に空調・電気・防犯・防災等の各設備の改修工事を実施する。

(2) 収蔵スペースの拡充、来館者の利便性向上

収蔵文化財約 98,000 点・収蔵図書約 86,000 冊に増加しており、収蔵スペースが狭隘化していることから、以下の対策を行う。

①資料室等館内スペースの一部を文化財収蔵庫に変更する。

②講習室を書庫に変更する。

③講習室機能を現在のギャラリーへ移転する。

また、ロッカースペースの拡充・整備、チケット売場の改善、館内トイレの改修、情報資料センターへの PC 環境導入等、利便性向上のための改修を行う。

2 展示リニューアル改修

平成 21 年（2009）に総合展示室・特集展示室の 2 室をリニューアルしたものの、未改修の展示室では展示ケースや内装の老朽化が進んでいることから、企画展示室・テーマ展示室 I・II の計 3 室（約 977 m²）を改修予定。

① 企画展示室（約 587 m²）

展示ケースの全面改修により、開閉機構の改善、ケースの気密化による温湿度環境の改善、高透過ガラスの導入、照明の LED 化等を実施する。展示環境において文化財に及び得る様々な影響やリスクを低減しつつ、市民が学び楽しむことのできる良質な鑑賞環境を提供する。

② テーマ展示室 I・II（合計約 390 m²）

展示ケースの部分改修を行う。高透過ガラスの導入、照明の LED 化等を実施するほか、ケース内装・展示室床材を更新する。

3 スケジュール

令和 2（2020）年度	設計
令和 3（2021）年度	10 月頃着工予定、工事 1 年目
令和 4（2022）年度	工事 2 年目（※他館での出張展示などを予定）
令和 5（2023）年度	工事 3 年目（※他館での出張展示などを予定）
令和 6（2024）年度	4 月開館